

令和 7 年度

「運営に関する計画」

大阪市立南百済小学校

令和 7 年 5 月

大阪市立南百済小学校 令 7 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

【安全・安心な教育の推進】

小学校学力経年調査(以下経年調査)における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は、93.7%と目標を上回った。今後も年 2 回継続していじめに対する研修や授業を行っていく。そして、いじめが認知された場合は、すぐに解消に向けて対応していく。

経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合は、90.9%と目標を上回った。引き続き、各学年・学級で自分のよいところに目を向けられるような取り組みを行っていく。また、否定的な回答をする児童に対して、なぜそう感じているのか原因を探り、アプローチしていく必要がある。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

「小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる」という目標を達成できたのは、4 年生のみだった。今年度の結果を踏まえて課題となる領域を分析し、重点的に指導をしていく。

「小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる」という目標を達成できたのは、4 年生のみだった。算数科も国語科と同様に、今年度の結果を踏まえて課題となる領域を分析し、重点的に指導をしていく。

「ソフトボール投げの記録を、全国体力・運動能力、運動習慣調査において、前年度より 1 ポイント向上させる」という目標を達成することができた。前年度と比較して、1.15 ポイント向上した。引き続き、児童が意欲的に取り組めるように実践を工夫していく。

【学びを支える教育環境の充実】

「授業日において、児童の 8 割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする」に対して、結果は 37.6%だった。年度末になるに連れ達成日が増加してきているので、引き続き学習者端末を様々な場面で活用してしく。

令和 7 年 2 月の教員一人当たりの平均時間外勤務時間は、25 時間 52 分と令和 6 年 2 月と比べて、2 時間 3 分短くなっているが、大阪市平均との差は、2 時間 37 分である。会議で話す内容の精選や行事の見直し等を行いつつ、校務分掌や学年等の仕事量が偏らないようにしていく必要がある。

令和 6 年度校内調査における「学校図書館貸出冊数（児童 1 人あたりの年間貸出冊数）を 15 冊以上にする」に対して、結果は約 24 冊だった。図書の取り組みを引き続き行いながら、学級文庫の運用についても改善を図る。また、高学年になるほど読書好きな児童が減っていく傾向があるので、好きになっていくような対策が必要である。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を95%以上にする。
- 令和7年度年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 令和7年度年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント向上させる。
- 特に課題であるソフトボール投げの記録を、1学期と2学期にそれぞれ計測して児童全体の50%以上向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。
- 教員の一人当たり平均時間外勤務時間を大阪市平均よりも下回るようにする。
- 校内調査における「読書は好きですか」という質問に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を95%以上にする。
- 令和7年度年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 令和7年度年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

学校園の年度目標

- 令和7年度の小学校学力経年調査（3年～6年/年1回）・校内調査（1年～6年/年3回）の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を95%以上にする。
- 令和7年度の校内調査（1年～6年/年3回）の「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント向上させる。

学校園の年度目標

- 特に課題であるソフトボール投げの記録を、1学期と2学期にそれぞれ計測して児童全体の50%以上向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。
- 教員の一人当たり平均時間外勤務時間を大阪市平均よりも下回るようにする。
- 令和7年度校内調査における「読書は好きですか」とう質問に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

学校園の年度目標

- 教員の一人当たり平均時間外勤務時間において、大阪市平均との差を10分縮める。

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

大阪市立南百済小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】 ○令和7年度の小学校学力経年調査(3年～6年/年1回)【昨年度 93.7%】・校内調査(1年～6年/年3回)【昨年度 94.4%】の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を95%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育の環境の実現】 ・「いじめについて考える日」をはじめ、各学年の実態にあわせた取り組みを行ったり、教職員向けの研修を行ったりして、「いじめを絶対に許さない」を共通認識のもと児童が安心して通える環境づくりに努めていく。また取り組みだけで終わらず、日々の学級経営の中で継続して、児童に「いじめ」に対する意識を高めていけるようにする。	
指標 ・1学期の「いじめについて考える日」をはじめ、児童とともに「いじめ」について考える場を全学級設定する。また教職員向けの研修を年2回以上行う。	
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育の環境の実現】 ・全教職員間で日々の児童の様子についての情報を記録・共有し、それに応じた教育活動が進められるように環境体制を整える。	
指標 ・月1回、児童理解研修の場を職員会議後に設定し、全教職員間で共通理解を図る。またそこから見えてきた課題があれば、部会やスクリーニング会議等、早期解決に向けての場を設定する。	
取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育の環境の実現】 ・	
指標 ・	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<div>【年度目標】について</div> <div>【取組内容】について</div>
次年度への改善点
<div>【取組内容】について</div>

(様式 2)

大阪市立南百済小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【安全・安心な教育の推進】 ○令和 7 年度の校内調査 (1 年～6 年/年 3 回) の「自分には、よいところがあると思いま すか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 9 4 % 以上にする。【昨年度 93. 4%】	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進 捗 状況
取組内容①【基本的な方向 2 豊かな心の育成】 ・ 道徳の授業や各学級の児童の実態に応じた取り組みを通して、自尊感情向上に努め る。また自尊感情が低い児童に対しては、関わり方を探求する。	
指標 ・ 「個性の伸長」の授業や、各学級児童の実態に応じた取り組みを年 2 回以上行う。ま た、教員研修を 1 回以上行う。	
取組内容②【基本的な方向 1 安全・安心な教育の環境の実現】 ・	
指標 ・	
取組内容③【基本的な方向 】 ・	
指標 ・	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
【年度目標】について
【取組内容】について
次年度への改善点
【目標設定】について
【取組内容】について

(様式 2)

大阪市立南百済小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 ○小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.5 ポイント向上させる。 ○小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.5 ポイント向上させる。 ○特に課題であるソフトボール投げの記録を、1 学期と 2 学期にそれぞれ計測して児童全体の 50%以上向上させる。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を知る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】 ・国語科と算数科において、単元の特性に応じて少人数指導、ティームティーチングなどの指導法を取り入れ学力の向上を図る。	
指標 ・国語科および算数科の全指導時間の 80%以上で少人数指導、ティームティーチングのいずれかを取り入れる。	
取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】 ・各教科で効果的な話し合い活動ができるよう聞き方や話し方を指導し、積極的にペアやグループでの活動を取り入れる。	
指標 ・週に 5 回以上ペアやグループなどで話し合う活動を取り入れる。	
取組内容③【基本的な方向 5 健やかな体の育成】 ・体育の時間に行うボール運動を中心に、遠投大会などの投げる運動に関する企画や環境の整備を行い、児童が運動に親しむ機会を増えるようにする。	
指標 ・年に 2 回以上、「投」に関する運動に親しむ取り組みを学年や全校で行う。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<div>【年度目標】について</div> <div>【取組内容】について</div>
次年度への改善点
<div>【目標設定】について</div> <div>【取組内容】について</div>

(様式2)

大阪市立南百済小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>「学びを支える教育環境の充実」</p> <p>○授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。【昨年度14.2%】</p> <p>○教員の一人当たり平均時間外勤務時間において、大阪市平均との差を10分縮める。</p> <p>○令和7年度校内調査における「読書は好きですか」とう質問に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p> <p>○校内調査における「学校図書館貸出冊数(児童1人あたりの年間貸出冊数)を23冊以上にする。【昨年度約23冊】</p> <p>学校園の年度目標</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】</p> <p>・各教科の単元指導計画や特別活動、南百済タイムにおける活動を工夫することで、学習者端末を積極的に活用する。</p>	
<p>指標</p> <p>・毎日1回以上学習者端末を活用する。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>・校務分掌等、仕事の偏りがないようにする。会議を精選し、その在り方を見直す。</p>	
<p>指標</p> <p>・月に2回ゆとりの日を設定する。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】</p> <p>・学校司書と協力し、読書に対する興味関心を高め、貸出冊数を増やす取り組みを行う。</p>	
<p>指標</p> <p>・学期に1回、図書に関する取り組みを行う。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<div>【年度目標】について</div> <div>【取組内容】について</div>
次年度への改善点
<div>【目標設定】について</div> <div>【取組内容】について</div>

(様式2)

大阪市立南百済小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【その他】 学校園の年度目標	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進 捗 状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育の推進】 ----- 指標	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【年度目標】について 【取組内容】について	
次年度への改善点	
【目標設定】について	

令和 7 年度

「運営に関する計画」

(添付資料)

- ☐ 週時間配当及び日課時間表
 - ☐ 校務分掌
 - ☐ 学校行事予定表
 - ☐ 全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状
 - ☐ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状
 - ☐ 児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査の結果から明らかになった現状
- (☐ 各種年間計画 : ○○年間計画、△△△△年間指導計画、 . . .)

※ 提出する書類に、☒を付けてください。

大阪市立南百済学校

令和 7 年 5 月